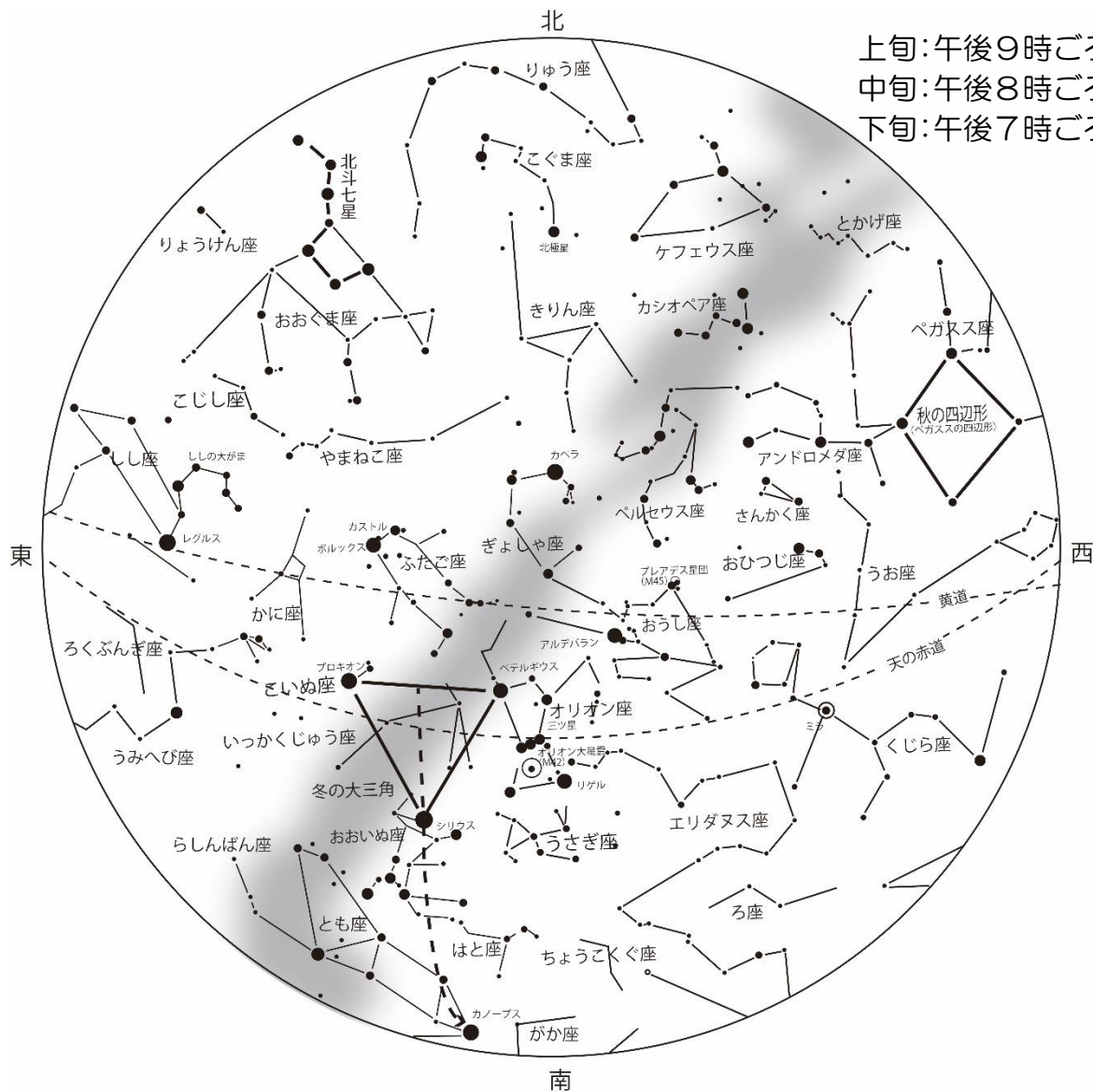


令和4年 2月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬:午後9時ごろ
中旬:午後8時ごろ
下旬:午後7時ごろ

★2月の星空案内

今月の星座探しは、南の空で輝く、一直線に並んだ3つの星“三ツ星”とそれを取り囲む4つの星からなる砂時計のような星の並びのオリオン座を見つけるところから始めましょう。オリオン座の“三ツ星”を結んだ線を南東（左下）の方にのばしていくと1等星のシリウスが見つかります。シリウスは全天に21個ある1等星の内、最も明るい星です。この星を目印にして見つけることができるのがおおいぬ座です。オリオン座のベテルギウスの東（左）で明るく輝く星は1等星のプロキオン。プロキオンと漢字の「一」の星の並びが目印になる星座がこいぬ座です。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結ぶとできる大きな三角形は『冬の大三角』といいます。『冬の大三角』は、街明かりの明るい場所でも比較的見つけやすいので、ぜひ探してみてください。

そして2月は、その星を一目でも見ることができれば寿命が延びると言われているカノーパスを見つけやすい時期です。カノーパスは、オリオン座のベテルギウスとこいぬ座のプロキオンのちょうど真ん中とおおいぬ座のシリウスを結んだ線を南の地平線の方にのばしていくと見つかる赤っぽく見える星です。

夜は非常に冷え込みますが、温かい恰好をして、冬の大三角を目印に長寿の星を探してみたいはいかがでしょうか。

【 見ごろの惑星 】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(0.1等前後):いて座→やぎ座付近 日の出前、東南東の低空で輝く。
- ☆金星(-4.9等前後):いて座付近 日の出前、南東の低空で、ひととき明るく輝く。
- ☆火星(1.4等前後):いて座付近 日の出前、南東の低空で赤っぽく輝く。
- 木星(-2.0等前後):みずがめ座付近 日の入り後、西南西の低空で輝く。(上旬)
- 土星(0.8等前後):やぎ座付近 観察に適していない。

注目の天文現象(2月) ~最大光度となった金星と火星、月の共演を楽しもう~

2月は、日の出前の南東の空で金星がひととき明るく輝いています。この金星は13日に最大光度となり、その光度は-4.9等にもなります。金星よりも低い空には、1.4等で赤っぽく輝く火星も見えています。この火星は2022年12月1日に地球に最接近するため、これから徐々に明るさが増していきます。(※最接近時の光度は-1.9等)そして27日、28日には新月間近の細長い月が2つの惑星に接近して輝きます。明るい金星と赤っぽい火星、細い月が接近して輝く様子は、とても印象的な眺めとなることでしょう。

いつもより少し早起きをして、この機会に2つの惑星と月の共演を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	月	● 新月 (14:46)	13	月	金星が最大光度 [-4.9等] (03:33)
4	火	立春 (05:51)	17	火	○ 満月 (01:57) 水星が西方最大離角 (06:07)
8	金	☾ 上弦 (22:50)	24	火	☾ 下弦 (07:32)